障総括担当）[18] は、「かかりつけ医」の登録制に関し、「制度設計の選択肢の一つ」とした上で、かかりつけ医機能は財政論うんぬんの前に、あくまでも患者のニーズに応え、医療サービスの質を向上させることを基本に考えるべきだと強調。「機能を果たせる医療機関をしっかり定義付けして、地域の中で位置づけていく。そういう制度改正ができればと思う」と述べている。

日本医師会長が述べているように、我々は理論武装をし、意図的にかかりつけ医の登録制を発言する勢力に誘導されていては、医師の将来はないと思われる。

参考文献

１）島崎謙治、日本の医療　制度と政策　東京大学出版会　320－322　2011年
２）日本医師会創立記念誌―戦後五十年のあゆみ　212　1997年
３）日本医師会雑誌　109巻８号、1162-1165　1993年
４）「医療提供体制のあり方」日本医師会・四病院団体協議会合同提言　日本医師会・四病院団体協議会、2013年８月８日
５）厚生労働省社会保障審議会・医療部会　2019年１月17日
６）新経済・財政再生計画　改革工程表2021　経済財政諮問会議　2021年12月23日
７）全世代型社会保障構築会議「議論の中間整理」2022年５月17日
８）歴史の転換点における財政運営　財務省財政制度等審議会　2022年５月25日
９）経済財政運営と改革の基本方針2022　2022年６月７日
10)「日経・日経センター改革提言　最終報告」日本経済新聞朝刊　2022年６月20日
11）二木立　日本医事新報　5141号　54-55　2022年11月５日
12）日本医事新報　4696号　2014年４月26日
13）厚生労働省社会保障審議会医療部会　2022年９月29日
14)「かかりつけ医機能」に関する提言　日本病院会　2022年11月２日
15）m3.com 医療維新2021年９月６日
16）[医療政策会議第１回報告」日医発第1469号　2022年10月25日
17)「日医君」だより／プレスリリース　2022年11月４日
18）メディファクス　2022年10月24日

医の倫理綱領

日本医師会

医学および医療は、病める人の治療はもとより、人びとの健康の維持増進、
さらには治療困難な人を支える医療、苦痛を和らげる緩和医療をも包含する。
医師は責任の重大性を認識し、人類愛を基にすべての人に奉仕するものである。

1. 医師は生涯学習の精神を保ち、つねに医学の知識と技術の習得に努めるとともに、その進歩・発展に尽くす。
2. 医師は自らの職業の尊厳と責任を自覚し、教養を深め、人格を高めるように心掛ける。
3. 医師は医療を受ける人びとの人格を尊重し、やさしい心で接するとともに、医療内容についてよく説明し、信頼を得るように努める。
4. 医師は互いに尊敬し、医療関係者と協力して医療に尽くす。
5. 医師は医療の公共性を重んじ、医療を通じて社会の発展に尽くすとともに、法規範の遵守および法秩序の形成に努める。
6. 医師は医業にあたって営利を目的としない。